

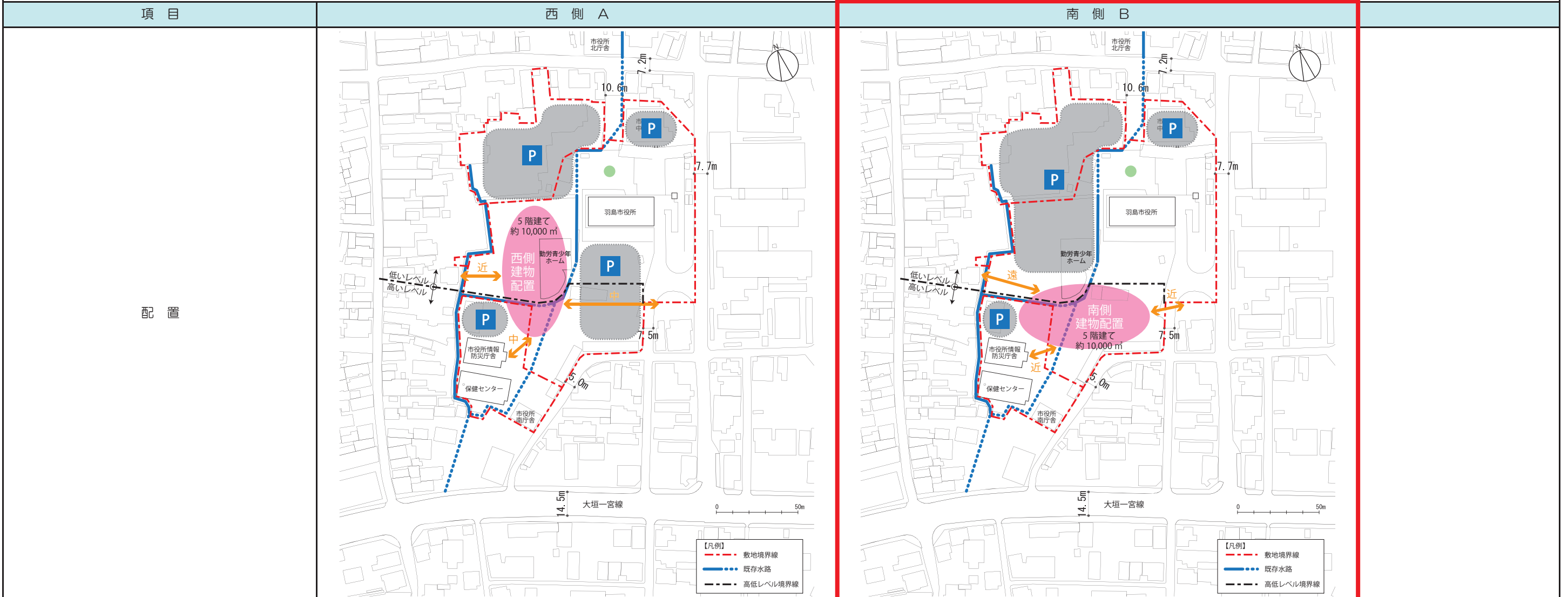
1 新庁舎建設予定位置の比較検討における前提

- ① 周辺への配慮について、近隣住宅等への環境影響（日照・日影・風・騒音・振動等）の変化を最小限に留めること。
- ② 現本庁舎を現時点では残存させること。（H29.7.28 羽島市庁舎検討委員会からの答申『現本庁舎を庁舎として使用せず』）
- ③ 現敷地内における既存建築物について、以下2建築物は、新耐震基準建築物であり、老朽化も著しくないことから、今後も利活用を図れるように残存させること。
 - ・情報防災庁舎（H27.3 竣工・S造・2階建・延床面積 690.00 m²）
 - ・保健センター（S57.3 竣工・RC造・2階建・延床面積 801.65 m²）
- ④ 新庁舎の延床面積は、約10,000m²とすること。
- ⑤ 駐車場の規模は、来庁者用150台及び公用車用100台を最低限として確保すること。

2 新庁舎建設予定位置の比較検討基準

現敷地内での建設予定位置を現本庁舎以外の敷地範囲で、西側A・南側Bと想定した場合の比較検討項目における評価内容の優劣について、○3点、△2点、×1点として定量的に評価する。

※ 建物予定位置で遜色のない建物配置計画事項：周辺からのアクセスの利便性、建物形状の計画自由度、建物低層化のための敷地の有効活用度、全体事業費コストの抑制度、将来計画（増改築や減築）を見据えた敷地の有効活用度、構内通路・緑地等の計画自由度



属性	番号	比較検討項目	評価内容	結果	評価内容	結果	比較検討結果
環境	I	周辺への日影の影響	近隣敷地等への日影の影響が大きい	×1 大	近隣敷地等への日影の影響が小さい	○3 小	羽島市新庁舎建設工事設計業務委託プロポーザル審査委員会における審査結果及び審査講評並びに第2回羽島市新庁舎建設委員会での調査・協議・審査内容を踏まえ、現時点での新庁舎建設予定位置は『現敷地の南側』が最良であると判断する。
防災	II	周辺への延焼のおそれの軽減度	隣接敷地等に住宅が近接している	×1 近	隣接敷地等に住宅が近接していない	○3 遠	
機能	III	既存の残存建築物、2棟との連携	建物間の近接距離により連携がやりにくい	△2 中	建物間の近接距離により連携がしやすい	○3 近	
地形	IV	既存地盤の高低差の有効活用度	浸水への影響に配慮し、既存地盤の低いレベルに建設	×1 低	浸水への影響に配慮し、既存地盤の高いレベルに建設	○3 高	
交通	V	公共交通機関からのアクセスの利便性	現状のバス停と出入口がやや遠い	△2 中	現状のバス停と出入口が近い	○3 近	
機能	VI	勤労青少年ホームへの影響	残存不可	×1 不可	残存不可	×1 不可	
交通	VII	歩者分離に伴う敷地の有効活用度	駐車場の一体的整備がしづらい（分離配置）	×1 遠	駐車場の一体的整備が可能	○3 近	
比較検討結果合計				9		19	